

平成30年度事業計画

平成30年4月1日～平成31年3月31日

1. 基本方針

日本経済の景気の上昇が実感されず、急速な少子高齢化社会による労働人口が減少する中、シルバー人材センターの活動は重要な役割として期待されています。シルバー人材センターへの期待と注目がされる中で、当センターの積極的な取り組みは、請負事業の安全・適正就業の観点から労働者派遣事業への切り替を強化することと、就業会員の拡大と充実を図ることです。そのためにも魅力あるシルバー人材センターとしてイメージアップをしていくことが必要であり、普及啓発事業により一層取り組んでまいります。

また、目標会員数1,400名を達成するためにも、入会説明会を充実させ、会員の増員を目指し、高齢者の活躍の場をより多く提供することです。生きがいと健康・社会参加がシルバー人材センター最大の役割として、当センター会員と役職員が一丸となって果たしてまいります。

2. 事業目標

(1) 事業収入	6億2千万円	(年度末)
(2) 会員数	1,400人	(年度末)
(3) 就業延人員	15,000人	(年度末)
(4) 事故件数	0件	(年度末)

3. 事業実施計画

(1) 高齢者活用・現役世代雇用サポート事業の促進

国の補助事業として、昨年度に引き続き新規の労働者派遣事業への取り組みが強化・拡充している中、人手不足分野等への就業開拓の拡大と推進の徹底に努めて行くこととします。

(2) 安全・適正就業への取り組みについて

会員が安心・安全に働き自らの生きがいや地域社会に貢献出来る環境づくりを推進するために適正就業が第一優先となります。会員と事業所の双方に適正就業の周知徹底と理解を深めていくことに傾注します。また、安全研修や巡回パトロールを実施し、事故発生0件を目指した取り組みを進めて行くこととします。

(3) 新規会員入会の促進

前年度に引き続き、継続的に会員入会の促進を図ることとし、毎週水曜日の入会説明会の他に第5週目の出張説明会を定期的を実施します。

また、会員一人が1名の新規会員の加入促進を推進し、さらに、退会会員の減少に努めるとともに、女性会員の確保に努め、積極的な入会活動を目指すこととします。

(4) 地域班活動の充実

地域班組織の活性化を図るため、当センターの事業運営の分担と細分化を図り、地域班への活動参加がしやすい環境を整えて行くこととします。具体的には、元気な入間文化祭、元気な入間ウォーキング大会、やまゆり長寿フェスティバル、入間万燈まつりなど各地域班が2事業の出店参加とします。

(5) 普及啓発事業等の推進

行政と一体なって事業を展開するシルバー人材センターにとって、普及啓発事業は、重要な分野となります。具体的な事業として、次の事項を促進することとします。

- ① 第10回元気な入間文化祭の開催
- ② 第4回元気な入間ウォーキング大会の開催
- ③ 市民参加の親睦交流旅行の開催
- ④ 市主催の入間万燈まつり等イベントへの参加
- ⑤ 常設展示場有効活用の促進
- ⑥ 組織的ボランティア活動グループの発足促進

(6) 財政の安定化

公益法人から一般社団法人への移行2年目となり、不安視されていた実績の低迷について油断できない中、適正就業の観点からは、契約解除を余儀なくされた就業先もありました。今年度は、より一層、新規就業先の拡大と入間市への適正な補助金交付の理解を求め、財政の安定化を確保することとします。

(7) 第1次中期計画の策定

今年度は、当センターの発展と充実を目的に第1次中期計画を策定します。5ヶ年計画（平成31年度～35年度）を総務委員会が中心となり策定し、一般社団法人として、より一層魅力的なシルバー人材センター活動を目指すこととします。